別　紙

建物及び設備における石綿使用状況

北陸電力株式会社

平成20年4月18日

対　象		使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況　他）
石綿を含有する吹付け		設備機器室、変圧器室等の防音材として壁面や天井に使用の他、断熱材、耐火材として使用。	・使用箇所を把握し計画的に対策を実施してきている。 ・自社建物：０棟　（平成19年度に16棟を除去）	今後,新たに石綿が発見された場合は,定期的に点検を行うとともに,施錠を行うなどの入出管理を徹底する安全管理を行い、計画的に除去対策を実施していく。
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等に使用	・Ｈ１８．８以前に使用された建材に含まれていると考えられる。 それ以降は石綿含有製品は使用していない。	成形品であり、通常状態において飛散性はないが、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。
	防音材	変圧器の防音材 （変電設備・水力発電設備）	・25台	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料 （送電設備・配電設備）	・亘長：　約３４ｋｍ	
	保温材	発電設備 （火力設備）	・石綿含有製品残数： 約５千m^3（全数の約１割）	
	シール材・ジョイントシート	発電設備 （火力設備・原子力設備）	・石綿含有製品残数： 【火　力】約10.4万個（全数の約6割） 【原子力】約2.7万個（全数の約7割）	
	緩衝材	送電設備等の懸垂碍子	・懸垂碍子：約46万個（全数の約３割）	成形品であり、加えて碍子内部に封入されているため、通常状態において飛散性はないが、修繕工事等の機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替えていく。
	増粘剤	架空送電線用の電線	・電線防食剤　亘長：約４km （架空送電線全亘長の約0.1％）	油性材料（防食グリス）と一体化しているため、通常状態において飛散性はないが、修繕工事等の機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替えていく。